



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.5.10 No. 3789

7月ダイヤ改の労働条件提案

何れもこの改正案が まとも組合無視

五月七日、七月ダイヤ改の「労働条件」が提案された。ただし、労働条件と言っても、提案された中身は、乗務キロ・労働時間・車両配置とダイヤ改に伴う訓練計画の概要のみであった。

乗務員の訓練計画が定まっていることや各区の労働時間Aが定まっているという事は、すでに各区の行路が決まっているということである。にもかかわらず、当局は、この日もBダイヤや交番表を明らかにしようとしないう。それどころか、「あやめ」「すいごう」三往復の廃止や内・外房特急各二往復の二五五系新特急への立替え、千葉・木更津等通勤時間帯の増発など、四月十三日に明らかにした列車設定の変更についてすら、どの列車が廃止されるのか、どの列車が立替えられるのか、増発される列車は何時に設定されるのかすら明らかにしようとしないう。

理由は、「行政に明らかにするまでは組合に提示できない」というのである。これは、ダイヤ改に伴う労働条件について、労働組合と団体交渉を行なうて決定するつもりなどない、と言っているに等しいことだ。具体的な労働条件を組合に提示するときは、すでに最終確定してしまっているからであり、形式的な「団交」は行なっても、「提案したものは間違っているとも変えない」と

7・2ダイヤ改提案 運転士乗務キロ及び労働時間

	7・2ダイヤ改提案				増減(現改比較)			
	区所計		一人一日平均		区所計		一人一日平均	
	乗務キロ	労働時間A	乗務キロ	労働時間A	乗務キロ	労働時間A	乗務キロ	労働時間A
習志野運輸区	5,070.6	220:40	153.7	6:41	0	0:00	0	0:00
京葉運輸区	8,318.3	281:25	198.1	6:42	+72.2	▲4:16	+1.8	▲0:06
千葉運転区	16,740.6	605:27	178.1	6:26	▲388.9	▲14:46	▲2.2	▲0:06
木更津支区	1,037.2	61:02	115.2	6:47	0	0:00	0	0:00
館山運転区	7,075.2	223:53	208.1	6:35	▲17.7	+3:29	▲0.5	+0:06
勝浦運転区	6,165.8	211:54	192.7	6:37	▲39.4	+0:09	▲1.2	0:00
銚子運転区	11,053.6	345:52	208.6	6:32	+11.2	+4:07	+0.3	+0:05
合計	55,461.3	1,950:13	186.7	6:34	▲362.6	▲11:17	▲0.6	▲0:01

※ 千葉支社管内の列車キロは、▲410.9キロ

この間の不誠実な対応をまたも繰り返そうとしているのである。

また、この日提案されたものを見ても、京葉運輸区と銚子運輸区の業務を増やし、千葉運転区、館山運転区、勝浦運転区の業務を減少させていること、そして、新型特急の行路を京葉運輸区持ちとしていることなど、JR総連と結託し、動労千葉を敵視した業務分担が行なわれていることは歴然としている。

7・2ダイヤ改提案要員関係

	要員増減	記事
千葉運転区	▲1 (170→169)	すいごう、あやめ一部廃止に伴う行路見直し
千葉車掌区	▲3 (259→256)	安房鴨川支区との行路持ちかえ
千葉車掌区 安房鴨川支区	+3 (39→42)	千葉車掌区との行路持ちかえ
成田車掌区	▲3 (120→117)	すいごう、あやめ一部廃止に伴う行路見直し

さらに、木更津構内線見(館山)、錦糸町電流線・佐原0番・千葉三一五番線線見(銚子)、二五五系ハンドル訓練(京葉)等、一カ月〜二カ月に及ぶ訓練計画が明らかにされたが、これも一切の要員措置なしに行なう、としている。訓練は年休規制が休日勤務で行なえということだ。この訓練も、実際には、現場では、この日の提案のずっと前からすでに具体的な実施計画が明らかにされ、ほとんど準備が進められている。あくまでも組合など無視して進め提案などは「事後報告」でかわらないというやり方なのである。

組合無視

命令と服従の労働政策打破

組合・運動体安確立、反戦・反核を担う労働運動を